

事業概要シート

施策 1303 農地の保全と有効活用

《》の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	農村地域防災減災事業（赤似田ため池）	新規	予算額	1,109 千円
			《	》千円
事業期間	平成31年度 ~ 平成36年度	財 源 内 訳	国庫支出金	0 千円
根拠法令 要綱等	農村地域防災減災事業実施要綱		県支出金	0 千円
			地方債	0 千円
			その他	0 千円
			一般財源	1,109 千円

【事業の目的・概要・対象】

老朽化によって漏水が著しく堤体決壊の恐れがあるため池を改修し、災害を未然に防ぐことにより、農業生産基盤と農村住民の生命・財産を守る。

赤似田ため池改修工事 堤体改修 1式 L=93.0m

- ・調査計画事業
- ・計画更新作業
- ・対策工事

【堤体部の改修】



【背景】

近年、全国的に、集中豪雨や大規模地震に起因した災害が数多く発生し、ため池の下流に大きな被害を与えている。また、豪雨が収まった後も、変状が見つかったため池もあり、農村地域全体における災害対策上の課題を整理したうえで、地域の実情に即した整備を実施することが重要である。

担当課	産業振興部 農林水産整備課	課長	森 真澄
担当者	川下 祥三	問合せ先	0957-53-4111（内線258）

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	整備事業進捗率 = $\frac{\text{当該年度まで市負担金}}{\text{全体事業費（市負担金）}}$	目標値 %	—	—	—	1.9	7.5
②		目標値 %					

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	災害防止面積	目標値 ha	—	—	—	38.3	38.3
②		目標値					

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	0	0	0	1,109	3,200	1,600	5,909
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債					2,800	1,400	4,200
その他							0
一般財源				1,109	400	200	1,709
人件費		0	0	2,031	1,971	1,971	5,973
職員(人)				0.26人	0.26人	0.26人	0.78人
時間外勤務(h)				70h	40h	40h	150h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	0	3,140	5,171	3,571	11,882

妥当性 (市の関与)	老朽化したため池は、そのまま放置すれば堤体の決壊により、下流域の農地や住居及び水路等の公共施設に甚大な被害を及ぼす恐れがある。
有効性 (施策貢献度)	本事業による防災対策を講じることにより、農村地域の農業生産基盤と農村住民の生命、財産を守ることができ施策効果は大きい。
効率性 (コスト)	本事業を県営事業として実施し、事業費の一部を負担することで、他の事業で市が事業主体で行うより、コスト縮減となる。

1次評価	ため池整備工事により、施策効果は高い。
2次評価	1次評価のとおり

評価調整 委員会評価	
---------------	--